



つわの

9月定例会
議会だより

No.52
2018
(H30)

小学校運動会

木部小学校24人 9月15日(土)
元気はつらつ徒競走 (雨天で旧木部中体育館)



日原小学校93人 9月16日(日)
低学年 玉入れ



青原小学校27人 9月16日(日)
玉入れの途中では…



津和野小学校123人 9月29日(日)
赤組・青組応援合戦 (雨天で小川体育館)



注目記事!!

29年度会計決算	2
日原診療所改修工事基本設計業務委託料	3
津和野庁舎耐震診断業務委託料	
公有財産購入費(津和野庁舎隣接県所有地)	
町内学校ブロック塀撤去工事	
補正予算の修正動議	

平成29年度 各 会 計 決 算

☆9月定例会（9月10日から26日）において決算審査特別委員会を設置し、平成29年度各会計を審査しました。本会議においてすべての会計決算を認定しました。（賛否表は15ページ）

*千円以下切り捨て ▲=マイナス

	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計	91 億 1595 万円	89 億 1821 万円	1 億 9774 万円
特 別 会 計	44 億 9781 万円	43 億 8867 万円	1 億 913 万円
病院事業会計	収 入	支 出	差 引 額
病院事業	7 億 4566 万円	7 億 3823 万円	686 万円
資 本	4746 万円	8749 万円	▲4002 万円

*4002万円の不足額は過年度分損益勘定留保資金で補てん。

☆実質公債費比率 **10.8%**（前年度比 ▲1ポイント）

☆経常収支比率 **89.5%**（ // ▲1.2ポイント）

☆町民一人当たりの借金 **167万円**（ // ▲1万4000円）

☆基金残高総額 **3497万円**（ // ▲4億1797万円）

☆地方債残高総額 **125億6506万円**（ // ▲3億6980万円）

◎主な審査意見

- (1) 町税については、滞納総額 2770 万 6 千円（前年比 345 万 6 千円減）で、大幅に減少している。県との併任制度による堅実な徴収努力の結果と考える。不納欠損総額は 172 万 4 千円（前年比 1216 万 4 千円減）となっている。
- (2) 使用料等は、住宅使用料の滞納額 551 万 7 千円（前年比 7 万円増）、負担金は、保育料等の滞納額 60 万 1 千円（前年比 37 万 7 千円増）である。
- (3) 自主財源に乏しい当町にとって、公平性の観点からも滞納徴収に努め、自主財源の確保に努められたい。
- (4) 平成 29 年度のふるさと納税は 2037 万 9 千円であり、平成 28 年度と比較して 1001 万 6 千円の増である。平成 20 年度から 29 年度までの累計が 7077 万 717 円となっている。個人が自治体を自由意思で応援する制度であることを踏まえて、寄付者の思いが尊重される運用に努められたい。
- (5) 職員の時間外勤務は 1 万 2470 時間で 28 年度より 100 時間増加している。時間外勤務手当は、対前年度比 329 万 7 千円減（前年比 10.0%減）となっている。長時間労働は心身に多大な影響を与えるため、適切な人員配置を図りつつ、組織内の連携や事業の効率化を強化して労務管理の徹底を図るべきである。

決算審査特別委員会委員 かわだ つよし みうらえいじ てい たいじん てらとまさこ くさだきちまる
◎川田 剛 ○三浦英治 丁 泰仁 寺戸昌子 草田吉丸

9月議会 補正予算

歳入歳出それぞれ2億8055万円を追加し、予算総額 89億4856万円 が提案されました。

日原診療所改修工事基本設計業務委託料を予備費とする修正動議が道信議員、米澤議員、後山議員より提出されましたが、修正案を否決し、原案を賛成多数で可決しました。

(千円以下切り捨て)

歳出の主なもの

【総務費】

・日原診療所改修工事基本設計業務委託料	1134万円
・津和野庁舎耐震診断業務委託料	479万円
・津和野庁舎隣接地の所有地(交通安全協会駐車場)購入費	4730万円
・映画「高津川」制作に対する補助金	414万円
・津和野温泉から野広橋までの津和野町内線へバス導入に係る石見交通(株)への1/2の補助金	1100万円

【民生費】

・直地保育園園庭フェンス改修修繕費	196万円
-------------------	-------

【商工費】

・SL運休等による観光客減への対応	246万円
・(株)HIYAMA(P15参照)等2社の空き店舗活用	480万円
・(株)HIYAMA機械購入にかかる島根型6次産業ステップアップモデル事業費補助金	1000万円
・観光リフト保護ネット等修繕費	413万円

【土木費】

・白井上地区流路工整備事業費等(道路維持費)	580万円
・倉谷川河床掘削工事請負費	416万円

【教育費】

・町内学校施設ブロック塀撤去工事	1090万円
・左澄公民館前庭舗装工事費	520万円
・藩校養老館文化財展示業務委託料	600万円
・藩校養老館御書物蔵保存修理及び管理棟修理工事実施設計業務委託料	420万円
・郷土館2階空調機器修繕料等	112万円
・森鷗外記念館空調中央監視装置自動制御機器更新等	455万円
・日原体育館照明器具等修繕料	121万円

【災害復旧費】

・林道笹山山入線災害復旧工事費等	1079万円
・町道小倉谷支線等の測量業務委託料	359万円
・町道小倉谷支線4ヵ所の災害復旧工事費	3019万円

歳入の主なもの

・地方交付税	1億1600万円
・繰入金 旧日原町庁舎建設基金繰入金	1134万円
・県支出金 地域商業活性化支援補助金(株)HIYAMA等2社に対して)	240万円
・ // 島根型6次産業ステップアップモデル事業費補助金	784万円
・ // 倉谷川河床掘削工事費に対する河川浄化対策事業費補助金	208万円
・ // 林道笹山山入線災害復旧工事費補助金	676万円

主な討論趣旨

反対

6月議会で請願が採択されて数ヶ月、請願人に対して誠意を尽くすべきであり、日原診療所改修工事設計業務委託料は認めることができない。

賛成

全国で震度7以上の地震や風水害が頻発して多くの被害が出ている。議会の特別委員会で3月に答申した通り、津和野庁舎の耐震化、日原庁舎は耐震基準を満たしている日原診療所へ移転・改修を行い、1日でも早く震災・災害に対する万全の備えをすべきである。

臨時議会

(平成30年8月3日)

契約案件

- 平成30年度日原賑わい創出拠点づくり事業カフェ・トイレ棟新築工事請負契約の締結

一般競争入札

1億551万6千円

工期

平成31年3月15日完成
契約者 (株)日成建設

全員賛成 可決

- 平成30年度津和野町立日原図書館建設工事請負契約の締結

一般競争入札

1億4148万円

工期

平成31年3月15日完成
契約者 堀建設(株)

全員賛成 可決



建設中の日原図書館

9月議会

- 津和野町過疎地域自立促進計画(平成28年度～平成32年度)の変更について

映画「高津川」制作支援事業に関連し、高津川流域活性化事業を追加するもの。

町負担金414万円

条例案件

斎場の名称が「しらさぎ会館」に変わります。

- ◎津和野町空家等対策協議会設置条例の制定

空家対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき制定するもの。

協議会は13人以内の委員で組織され、空家等対策計画の作成などを行う。

- ◎津和野町子育て世代包括支援センター設置条例の制定

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健、育児等に関する支援体制を構築するために制定するもの。

助産師の資格者を配置する。

- ◎津和野町宮バス運行に関する条例の一部改正

町宮バスの路線について、椋井谷地区の路線を追加するもの。

- ◎津和野町非常勤の職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

津和野町特別支援連絡協議会の設置に伴うもの。

および津和野町空家等対策協議会の設置に伴い一部改正するもの。

- ◎津和野町斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正

斎場の名称を「浄苑しらさぎ」から「しらさぎ会館」に改めるもの。

契約案件

- ◎平成30年度津和野町立日原図書館建設工事請負変更契約

変更の金額

1億4965万3440円

変更前の金額

1億4148万円

変更額

817万3440円

契約の相手方

堀建設(株)

変更の理由

地盤改良工事の作業中、大きな転石が多数確認された。

また、元国武医院の地下室等が出たための工法変更ならびに隣接家屋へ影響を与えないための家屋調査の費用を追加。

町道認定

- 町道森村笹山線の路線認定

県道柿木津和野停車場線、中座工区の完成に伴い県から移譲されるもので、森村地内県道を分岐し国道9号線へ合流する県道森村笹山線を町道に編入するもの。

延長1487m



町道森村笹山線起点
終点は国道9号線交点

所管事務調査報告書

総務経済常任委員会

《調査事件》

商工業の実態について

《調査日》 平成30年7月10日

《調査意見》

中座バイパスについて

①南の玄関口となるなごみの里に神楽上演等で使用できる舞台を設置すべきである。

②中座バイパスと県道13号線が接続する二差路に信号機を設置すべきである。

③開通前、開通後における動態調査を実施し、公表すべきである。

④なごみの里の利用者が増加



中座バイパス国道9号線下り口

することが予想されることから、バス、一般車両の駐車場を分離する整備を行い、県道前の臨時駐車場を舗装すべきである。

⑤中座バイパスの凍結対策に努められたい。

JR津和野駅周辺整備について

①D51展示機関車の展示位置について、展示の位置や、屋根の有無など、保存の観点から重々検討されたい。



駅前に展示されているD51

②バスの乗降場所や一般車両の乗降場所について、屋根を設けるべきである。

③周辺整備にあたり、緑化や公園の整備も検討されたい。

④地元住民の活動拠点となるよう、地元住民とも十分

協議を実施されたい。

⑤駅前第二駐車場の料金徴収について、適正に料金徴収に努めることに異論はない

が、徴収機器の設置や徴収員の配置など徴収方法については財政を鑑み、十分検討されたい。

商工業について

①津和野町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく基本計画の策定を早急に着手すべきである。

②町内業者の清算・廃業は町経済や町民の生活に大きな影響を及ぼすものである。

空き店舗の活用や事業の承継を促す施策を講じるべきである。

③人口増加対策、人口流出対策として雇用の確保は有用である。

今後継続して企業誘致に努められ、職業選択の増加を図られたい。

④中座バイパスの開通により、人・車の流れが大きく変わることが予想される。

住民も観光客も利用できるような周遊バスの実施や、レンタサイクルおよび

サービス制度の整備、タクシーの利用促進策などニーズに応じた交通の整備を図られたい。

⑤津和野町商工会、津和野町観光協会等関連団体と連携し、さらなる商工業の発展に努められたい。

文教民生常任委員会

(中間報告)

《調査事件》

保育事業と障害者事業について

《調査の経過》

第1回 7月5日

保育事業と障害者事業の進捗状況机上調査

第2回 7月30日

各保育園施設(建物)の状況と保育園統廃合の経過について机上調査

および日原保育園の現地調査

第3回 8月27日

青原・木部さとやま・畑迫保育園の見学と状況調査

※今後の公設、公設民営、民営の保育園運営のあり方に關しての調査不足と、津和野町の障がい者福祉施策についての考察不足のため継続調査とする。

Q 高齢化社会にあった医療・介護施策を

A 早急な対策が必要と認識している



かわだ つよし
川田 剛 議員

問 益田圏域における医療・介護の連携は十分図られているか。

町長 益田保健所管内では、病院長会議で医療分野の機能分担を推進している。

併せて、医療と介護の関係者・行政関係者で構成されている地域医療構想における益田地域保健医療対策会議での医療・介護連携部会において、検討・推進されている。

町内においても各介護保険事業者との連絡会議を実施している。

問 具体的にはどのようなものか。

町長 団塊の世代が高齢化を迎える、いわゆる2025年問題を見据えた国の施策である。

益田圏域では町内開業医を含め各医療機関との医療連携を推進し、圏域での急性期・回復期・慢性期・在宅期医療の提供を行っている。

圏域には益田赤十字病院、益田医師会病院、津和野共生病院、六日市病院があるが、人口減少に伴い現在ある847床を27・6%減少させ6

13床とするものである。また、一般的な救急対応における総合診療医の育成や確保、理学療法士や作業療法士、訪問診療など多職種連携による在宅療養支援体制を構築する必要性、新たな「住まい」の必要性などがあげられる。

問 「住まい」について、地域医療協議会が提

案された医療近接型滞在施設、吉賀町で実施されている生活管理指導短期宿泊事業、サービス付き高齢者住宅などがあるが、津和野町において検討すべきではないか。

町長 地域医療協議会のご意見として「医療近接型滞在施設」があげられたが、冬場に通院が困難、あるいは訪問診療・訪問看護を利

産める環境は整っているか

益田圏域全体での連携が必要

問 周産期医療の体制は十分か。

町長 平成26年より島根大学医学部の協力により里帰り分娩が再開された。

益田赤十字病院において、3人の産科医で24時間体制をとっているが、医師の負担は計り知れない。

医師が不足している中で、広島から派遣されている医師もいると聞いている。

このことは益田圏域唯一の周産期医療提供病院として各市町を挙げて確保・支援しなければならぬ課題である。

産科医等確保支援事業、周産期医療維持・継続等支

用し、看取りも視野に入れた住まいが必要と考える。

さらに、各地域における高齢化などを考え、医療施設に近い場所にそのような施設は必要と考えるが、財政が厳しい中でどのような施設が適切なのが早急に検討しなければならない課題と認識している。

援事業を含めて、益田圏域全体で連携し対応しなければならぬ。

問 この地域の医療を守っていくためには、

これまで以上に益田圏域が連携して支援をしていかなければならないと考えるが、益田地区広域市町村圏事務組合での支援の検討はどうか。

町長 重要なことと認識しているが、益田市や吉賀町の意向、広域事務組合議会の考え方もある。

ただ、県内自治体で人材育成を進めていく必要性は認識している。



サービス付き高齢者住宅 (厚労省HPより)



くさだ きちまる
草田 吉丸 議員

Q 枕瀬山森林公園の整備と利用促進は

A 年次計画を立てて森林整備に取り組む

問

枕瀬山森林公園は昭和57年、中央広場、

駐車場、管理棟などの施設を設置して開園した。その

後、日原文台、ペンシヨ

ン北斗星、天文展示館ボラ

ンの広場、星と森の科学館が完成した。以来天文台を

中心に教育レクリエーショ

ンの場として、また自然休

養の場として多く

の人に利用されて

きた。

しかし

近年少子

高齢化で

利用者は減少し施設

設運営も厳しい状況である。

一方、平成28年「美しい

森林づくり条例」が制定され森林に対する新たな取

組みがスタートしている。

枕瀬山森林公園の今後の

整備や利用促進の基本的な

考えを問う。

町長 枕瀬山森林公園にあ

る「25世紀の森」はほとん

ど手入れがされず荒廃森林

となっていたことから、こ



日原文台

「友好の森」として手入れし、町民はもとより他地域の住民との交流の場として整備してきた。

年次計画を立てて、林業

の地域おこし協力隊が継続

して森林整備することで森

林を再生することを目指し

ている。

問 天文台の人員体制

と業務内容は。

町長 日原文台と関連施

設の業務としては、「日原文

文台」「星と森の科学館」「天

文資料館」の運営が主業務

である。

人員体制としては、再任

用の町職員と臨時職員の1

人が交代で当たっている。

問 ペンション北斗星

の経営体制は。

町長 平成29年9月にテナ

ント事業者が撤退したこと

から、現在公募しているこ

ろである。

経営体制については指定

管理者である株式会社津和

野開発のテナントとして入

居し、ペンション北斗星を

清流高津川が流れ、山頂か

らは日

原市街

地が一

望でき

る素晴

らしい

場所であ

る。

問 もつ

と大胆



枕瀬山森林公園からの眺望

に町有林や民有林を含めた一体的な整備計画を立て、他にないモデル森林整備を進めるべきではないか。

町長 町有林と併せ民有林

も取りこんだ整備計画も考

えてみたい。

併せて広葉樹林だけでなく

針葉樹林の整備も必要と

考える。

高津川清流館コールドセンターの状況は

人材育成事業に取組んでいるが目標達成には至っていない

問 ーT関連の企業誘致として期待されて

3年が経過したが現在の経

営状況はいかがか。

町長 平成30年9月1日現

在の雇用状況はスタッフ総

勢12人のうち正社員4人、

パート8人となっている。

問 町外の福祉施設入所者の方が亡くなられた

場合の斎場利用料は

親族の方が町内に住所を有していれば町内使用料を適用

長年町内で頑張っ

てこられた方が町外

の福祉施設に入れば住所変

更が必要である。

親族も町外であった場合

は現在の条例では町外使用

料となる。

は町内利用料を適用すべき

と考えるがいかがか。

町長 内部で検討する。

【その他の質問】

○道路、河川の維持管理に

ついて

Q リース方式のわさび田を作り、新規就農者の養成を

A 補助金を活用して、3棟のリースハウス等を作りたい



おかだ かつや 議員
岡田 克也

問 島根わさびは、左

鍔を始めとした町と

り、担当者が価格交渉に不慣れであったことが主原因である。今後はJAや市場関係者と連携を密にして取り組む。

県の昔からの特産品である。量石式のわさび水田もリース式で整備し、新規就農者の参入を講じるべきでは。

輸送料は、トラックが荷物を片道でなく、帰りも積む等、対策を考えたい。

町長 様々な補助金を活用して、リース式のわさび水田も整備して行きたい。

問 東京事務所を活用しての新規就農・定住、農業振興政策の現状を問う。

問 北九州市場等で評価が高く、収益性も高いタラの芽は新規就農者等が多く参入している。

町長 新規就農希望者を対象にした就農イベントの開催、新規就農者の定住促進、首都圏での町の特産品の販売も積極的に進めており、定住・地産都消の重要拠点となっている。

しかし、昨年度の西いわみ産の価格は低迷し、農家負担の輸送料も高く、大幅に収益が悪化した。対策が必要と考えるが。

町長 JAの人事異動があ

町長 JAの人事異動があ

低い場所の避難所は、河川氾濫時には不適當ではないか

町長 JAの人事異動があ

災害時には、早期に適切な避難場所を指定して避難を促したい

問 いつどこで災害が起こるか分からない時代となっており、復興のためのボランティア活動は重要である。

町長 有料道路の無料措置やボランティア保険加入の必要性等、ケーブルテレビや広報誌で情報の周知を行

相互扶助の精神からも、町もボランティアに関する

町もボランティアに関する

SLやまぐち号の再開と観光支援事業費補助金を活用して観光振興を

県の助成金も決定し、9月29日の運転再開と秋の観光シーズンに力を注ぎたい

県の助成金も決定し、9月29日の運転再開と秋の観光シーズンに力を注ぎたい

問 SLやまぐち号の運行休止等により、7月の町内の商店や飲食店は災害時並みの売上（平年の6割程度）であったと聞く。

SLの存在の重要性が改めて認識された。

運行再開時のイベントならびに豪雨観光支援事業費補助金、秋の津和野の味覚を活用して、落ち込んだ観光の振興を講じるべきでは。

町長 県も観光支援のため

合併協定項目である津和野庁舎の参事の配置をすべきでは

内部で諸課題を整理し、内部検討を続ける

問 町では合併時に約23%であった実質公債費比率（借金の比率）を平成29年度末には10・8%と半分以上に改善した。

津和野庁舎への参事の配置は課長の給与が参事に昇格することで、本俸・賞与・退職金等、数百万円の財政負担が生じることから、行財政改革の一環として不配置したことは理解している。

参事を昇給・昇格ではなく、参事手当を支給して配置すれば、大きな財政負担も生じないのではないかと

【その他の質問】

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について

津和野高校存続のための県外からの留学推進のための施策について



寺戸 昌子 議員

Q 病後児保育は年度内に可能か

A 年度内開設を目指し検討を重ねている

問 どのような検討をしているのか。
 町長 施設スペースの問題、

看護師、保育士の確保について関係機関と協議を行っている。

日原地域の集会場の整備はいつか

日原診療所に庁舎を移転した後、第2庁舎を整備したい

問 コミュニティセンターの改修計画の進捗状況は。

教育長 平成29年度に耐震診断を実施している。

耐震工事に併せ改修工事を行う必要性がある。一方、山村開発センターが使用できなくなり、町民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしている。

しかし、現在ケーブルテレビ改修工事や庁舎の耐震化工事等、大規模な事業を計画しているので、より慎重に中期財政計画を考慮しながら実施計画を立てている。

問 コミュニティセンターの調理室は、

天井からパイプがおりてきたり、床が結露したりと使いつらい。利用者の声を聞いて改修するべきでは。

教育長 財政が許す範囲で改修したい。



第2庁舎

問 3月議会において津和野町文化協会から「日原地域に1日も早く文化的行事・各種集会所がで

きる集会場の整備を」との要望が出ていた。集会所はいつ整備されるのか。

教育長 新たな集会所の建設は現在のところ考えていないが、庁舎建設検討委員会に庁舎を移転した後、現在の第2庁舎を改修し、集会所として使用したいと考えている。

津和野町原発事故避難者受け入れ計画はできているか

作成していない

問 島根県は建設中の島根原発3号機の事前審査を了解した。それを

受け、中国電力は8月10日、島根原発3号機の稼働に向けた適合性審査を原子力規制委員会に申請した。

福島第1原発事故後、建設中の原発の申請は2例目であり全国の注目を集めた。島根原発で事故が起きた場合、周辺住民の避難などが必要になる。

津和野町も松江市乃木に住む1万6千人のうち2千人の避難先に指定されている。

津和野町原発事故避難者受け入れ計画は平成26年12月議会において「具体的な詳細にわたる計画はまだ立っていない」と回答を頂いたが、その後作成されたのか。

町長 当町における避難者受け入れ計画は作成していないが、「原子力災害時における広域避難に関する避難者受入に係るガイドライン」を踏まえ、今後、検討して

いきたい。

問 昨年7月に経済産業省が放射性廃棄物の最終処分場の適地を色分けした「科学的特性マップ」を公表した。

経済産業大臣からは、全ての自治体の首長あてに経緯や趣旨の書簡が送付されている。

適地とされた自治体が次々と放射性廃棄物の拒否条例を施行している。

津和野町は、最終処分場を受け入れるべきと考えるか。

町長 県としての見解が示されていないが、受け入れ



島根原発

Q 斎場案内看板設置は

A 予算を計上している



うしろやまゆきつぐ
後山 幸次 議員

問

人生の終焉を迎える厳粛な尊厳の場所として平成11年に斎場が建設されて19年が経過した。

今回、滝元、野広、直地各地区の自治会員のご協力により、案内看板の設置が実現の運びとなった。

斎場の名称も決まり、看板設置の完成について問う。

町長 看板設置について今年1月から6月まで野広、

直地、滝元の各自治会で協議させていただき、表記について「浄苑」や「斎場」の表記はしないでほしいとのご意見があり検討の結果、「しらかぎ会館」との名称で各自治会の了承を得た。

9月議会において斎場の名称変更条例改正と補正予算を提出させていただいている。

津和野町公共下水道事業計画は

今後の下水道事業計画を再検討したい

問

津和野町総合振興計画の年次計画の基に下水道布設工事は進捗している。

鷲原地域完成後は、高田地域、喜時雨地域、橋北地区高岡通り、西側地域があるが、年次計画はどうか。

町長 平成17年度より一部地域において供用開始している。現在の加入率は53・8%と低い現状にある。

平成28年度に喜時雨、高田地区でアンケートを行ったところ加入希望者が70%今後検討したい。

災害支援物資の備蓄の状況は

防災訓練啓発活動に活用

問

西日本豪雨災害で賞味期限切れの飲料水が誤って配布された。

善意の行為がチェック機能の煩雑さで大変不愉快な思いをさせたと新聞報道があった。

自治会配布の防災リュックの身を調べたら、乾パン、パンの缶詰、飲料水等の賞味期限が切れているのに気付いて処理した。

町の防災用備蓄食品の種類と数量、保管場所、点検体制と期限切れの食料品の処理等はどうか。

津和野町駅前周辺整備は

屋根付回廊等改善案を検討中

問

SLを桑原史成写真美術館前に移設し、駅前ロータリーはイベント広場にしたい。バス、タクシー、一般車両等全面進入禁止の計画がある。

年間数回のイベント開催の為に駅前広場を車の進入を禁止されてまでイベント専用広場の確保が必要なのか。

このために駅への送迎者は駐車場に入り、新設される回廊を通じて駅舎に入る計画で、現在の駐車場を埋めて駅舎より出入口まで勾配になる。この場所がバスの回転場、タクシー、車両の駐車場となるのか。

駐車場便所解体、JR社宅解

町長

物資の備蓄は乾燥米飯3240食、ビスケット1590食、ペットボトル(20)2010本、毛布1180枚、携帯トイレ1万枚、役場庁舎、分遣所、各公民館等15カ所に保管。点検体制は保管施設管理者等と数量等の確認をしている。

賞味期限が切れる前に防災訓練や防災意識啓発活動などに活用したい。期限切れの食品は廃棄処分をする。

体跡に駐車場出入口移設計画で有料駐車場の台数減は何台か。

町長 SLを移設しても屋根の設置計画はない。

駅前広場は歩行者広場とし、車両進入不可とする。

駐車場、回転場はユニバーサルデザイン等を厳守し、駐車場は5%以下の勾配にする。駅舎に近いところに回廊を設置する。

バス停はロータリー内で計画し、町道本線上での駐車は計画していない。

駐車場出入口の関係で町道のかさ上げ舗装も周辺民家への影響等を考えて計画する。



よねざわ ひろふみ
米澤 宏文 議員

Q 津和野城山遊歩道整備の進捗状況・今後の整備計画

A 年内を目途に文化庁、県自然環境課と事前協議

問

森村出身の東京で会社経営者の方が昨年、津和野城山遊歩道一帯の整備に7億5千万円を町に寄付された。

1月の全員協議会で津和野城山遊歩道整備の事業説明で、測量・設計等の委託料について、①大手道修復（津和野高校寮横から登山）②ト



⑤町道城山線改良工事
一部を拡張し登山者のたまり場となる

イレ休憩所整備事業（本丸・出丸間）③遊歩道整備・樹木等維持管理業務（稻成神社・本丸・鷺原八幡宮）④本丸・出丸ライトアップ事業（城下町や国道9号線からの景観の向上）⑤町道城山線改良事業並びに32年度未完了との実施期間が示された。

30年2月臨時会の補正予算・津和野城山遊歩道整備事業費3771万8千円の測量業務等委託料が可決された。

補正予算可決後7カ月経過するが、その後の進展を

問う。

町長 補正予算可決後、自然環境の立木調査・中国自然歩道測量業務を発注、現在進行中。

4月以降に文化庁調査官・県自然環境課に基本構想を説明し今後の手続きの協議を行った。

今後の調査・測量を元に8月に発注した基本設計及び技術支援業務により関係各課が協議し、申請に必要な資料や基本設計等の調整を行う。

年内を目途に文化庁、県自然環境課と事前協議をする。

問

8月発注の基本設計の完成期日はいつか。

トイレの構造はバイオか水洗か。

町長 基本設計完成は年内。トイレの構造は今後協議する。

問

初代城主吉見氏時代の喜時雨側登城道を、津和野城山整備に合わせ町が復元整備をしてはどうか。

教育長

すぐには出来ない。喜時雨側の本丸石垣補修工事終了後検討する。

町環境整備計画は可能性を関係課と

問 9号線沿いの廃屋整備や樹木伐採などの町環境整備計画はあるか。

樹木の伐採について。

日本3大稲荷

また5大稲荷の一つ津和野太鼓

谷稻成神社の大鳥居が9号線脇に立っている。

建立者は北九州市門司区 富山耕一氏である。

近年、大鳥居周辺の樹木の生長で各方向から「上部しか見えない」という声を聞く。



津和野高校横駐車場から

なごみの里裏に芝桜を

県や関係団体と検討

問 なごみの里裏斜面に芝桜植栽で二層の観光振興を図るべき。

8月、南の玄関口「中座バイパス」が開通した。

観光振興の絶好のチャンス到来。

「中座バイパス」を降り右折すると瞬で、広大なお花畑が出現する。芝桜は4、5月開花で1カ月



なごみの里裏法面芝桜植栽イメージ

ない」という声を聞く。

観光津和野のシンボルの一つ、大鳥居周辺の山林を町が購入し将来に渡り視界障害を取り除くべきではないか。

町長 9号線沿いの廃屋は「町歴史的風致維持向上計画」で「見晴らし広場整備事業」に盛り込む。

樹木伐採は「町環境整備計画」に策定はないが関係2課の連携で具体的に進めて行く。

大鳥居周辺の山林購入は考えていない。

咲き集客効果は絶大である。

各種のイベントも効果はあるが1日で終わる。芝桜植樹の計画を立ててはどうか。

町長 法面に芝桜植栽で南の玄関口を通る来客の、お出迎え、お見送りに相応しく、また人々の心を和ませ、楽しむ憩いの場の創出は当町の新たな観光スポットとして検討するに値する。

広大な面積の植栽や管理等、諸課題を県や関係団体等と検討する。

Q JR 津和野駅渡線橋にエレベーターの設置は

A JR 西日本の基準では難しい



丁 泰仁 議員

問

JR 津和野駅の駅舎と駅前ロータリー整備について、高齢者、身体障害者などへの配慮として駅渡線橋のバリアフリー化に関して、JR西日本との協議は。

町長 JR西日本の基準とエレベーター設置の場合の財政的負担の膨大さなどで実現は難しい状況であるが、今後も実現の可能性について現場協議を求めている。

問

駅舎改修の際、過日、「高校生の町への提言」で、要望があった列車待ち時間に学生が集えるコミュニケーションルームなどを設置できないか。

町長 駅舎改修に関しては、現在観光協会の入所その他、観光交流センターとしての整備を予定しており、町が使えるスペースが狭まってきたり、机などを置いて学生の空間確保に努力してみたい。

問

駅前ロータリー改修後、駅前にSLを移動設置する予定であるが、老朽化し腐食も進んでいる模様である。子ども達の乗降に危険性はないか。

またSL愛好家の写真撮影時に車両交通に支障はないか。

町長 子ども達の乗降については、運転席以外へは原則禁止とし、注意書きなどの注意喚起を行うなど現状並みの対応を考えている。写真撮影については、駅前広場側からの撮影については十分なスペースの確保は可能。なお駅舎南側横には一階に多目的トイレ、二階に展望スペースの施設整備計画があり、展望スペースからもSLを見学でき、撮影も可能である。

町道駅前線側からの撮影については、道路通行上の妨げとなり危険なため、看板等による注意喚起を徹底する。

「外国人労働者」の受け入れは

政府指針に基づいて前向きに対処

問

政府は6月の閣議で「建設、農業、介護、宿泊、造船」の産業分野で、

外国人の在留期限を5年に延ばし、外国人労働者の雇用を来年4月から許可する

事を決定した。

これに対し、企業、全国知事会もこの政策を積極的に歓迎する意向を表明している。

当町はこの施策にいかに対応するのか。

町長 当町においては特に「医療介護、建設、観光」などの分野での人手不足について、商工会等関係機関との会議でたびたび話題に挙がっている。

今後こうした問題の解決が図れば当町経済にとつて明るい施策であると認識している。

問

この政府施策についてはいろいろな問題があるか。

当町の「教育イズム」は

「津和野町教育ビジョン」に示されている基本理念である

問

現在教科で、あいさつ、基本的行儀作法などの社会的ルールを話し合い、教える道德時間があるか。

教育長 小学校では特別の「教科道德」について本年度より先行実施されている。

問

中国の儒学者孟子が「人間と禽獣の違いは道德的屬性にあり、また教育を施して人間となる」

題が掲げられている。特に「住宅、日本語教育、医療、福祉」などである。

当町は現在この問題に対応できる状況にあるか。

町長 特に「住宅」については空き室も量的に確保できている、雇用主の保証があれば、国籍を問わず入居許可できる。

その他の問題については、政府で行われる自治体との検討会の結果を踏まえ一定の方針が示されると思われる。

その方針を持って島根県、ハローワーク、商工会等関係機関とも連携し、本格的な対応に努めたい。

と論じている。

人間同士の絆を深める「あいさつ」の徹底指導をお願いする。

教育長 再度徹底指導する。





いたがき たかし
板垣 敬司 議員

Q 地域おこし協力隊(任期付職員)の課題は

A サポートはしている

問

地域おこし協力隊員として期待していた人材が、任期中途中で退職するという事案に遭遇した。

プロジェクト推進に当たって、地域の支援体制も整っていたと認識している。町はどのように受け止めておられるか。

町長 退職の原因について、担当部署からは、ひとつには、いろいろな夢を描いて当町に来られたが、不安が常に付きまとっていたようだ。

町としても、目的や事業の進捗をサポートする定例会議をしながら進めてきたが、納得できる答えが見いだせなかったようである。

もう一つの理由として、将来への不安があったようである。

ただ、歴史を背景とした施設を、観光と福祉の両面で成果を見出すことに相当腐心されたようだ。

退職の意思を示される直前には、自身で企画された健康体操普及のため、東京出張の申し出があった矢先の退職であった。

本人からは、津和野が嫌になったとは聞いていない。

問

今年度に入ってから、の協力隊員・集落支援員の採用、異動についてはどのようなになっているか。

町長 平成30年度当初では、新たな隊員6人を迎え26人体制でスタート。

5月から1人を任用、6月末、8月末で2人任期終了。

9月から1人を任用している。

集落支援員については年度当初24人体制でスタート。

7月、8月からそれぞれ1人を任用。8月末で1人が退職。9月から新たに3人を任用。

9月1日時点における設置状況については、地域おこし協力隊員25名、集落支援員28人となっている。

問

任期終了を予定されている方々からの相談等は、どのようなものがあるか。

町長 当初予算の編成時期や任期終了が近づいた時点で、本人との意思の確認や将来構想等について相談を受けている。

起業にむけて全国研修会への派遣や町内事業所への

就職情報の斡旋、空き家バンク制度の紹介など仕事と

住いの両面から支援している。

会計年度任用職員制度は

内部検討を十分に行う

問

平成32年度から導入が予定されている会計年度任用職員制度とは、どのような内容なのか。

当町にとってはどのような影響が及ぶのか。

町長 地方公務員の臨時、非常勤職員は、全国での総数が平成28年4月時点で、約64万人にのぼり、地方行政の重要な担い手となっている。

改正の内容は、会計年度任用職員の仕組みを創設し、任用、服務規律等の整備を図る。

そして、特別職非常勤職員と臨時的任用職員の任用要件の厳格化を行い、会計年度任用職員等への任用の移行を行うものである。

問

自治体職員は、平成6年の32.8万人をピークとして、平成18年から平成28年の10年間で約26万人減少。27.4万人になっている。

一方、市町村合併や定員

管理計画によって非正規職員は約21万人増えて64万人になっている。

当町でも、嘱託職員、臨時職員など非常勤職員約100人が町の仕事を担っている。

町長 制度導入によって、任用の根拠が明確化され、勤務条件や処遇改善等が図られることが予想される。

その際、財源の確保が重要になってくる。

7月に例規支援業務を(株)ぎょうせいと委託契約している。

施行に向けて職員組合とも協議を行い、円滑な導入を進めていきたい。



Q 旧町時代の過失も懲戒処分 の対象か

A 行政に時効はない



みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

問 懲戒処分を行う機関は何というか。

町長 津和野町職員懲戒審査委員会。

問 委員会のメンバーは。

町長 町長・副町長・教育長・総務課長。

問 処分は何に基づいているのか。

町長 国の人事院が作成している「懲戒処分の指針」を参考にしている。

問 地方公務員法では「職員の懲戒の手続き及び効果」は町の条例で定めなければならないとある。

そこで、当町の条例を開いたが、「懲戒、減給、停職又は免職の処分はその旨を記載した書面を当該職員に交付して行わなければならない」とだけ書かれている。

それに対して人事院の指針は事例に則して大変詳しく書かれている。

この指針のコピーを職員に渡すなどして周知を図っているか。

町長 関心があればネットなどで入手できるので取り立てて行っていない。

問 「訓告」「口頭注意」の処分は人事院にも

地方公務員法にも当町の条例にもない。にもかかわらず町はそれらを使っている。

町長 それらは過去の事例によっている。

問 訓告と戒告の効果の違いは。

町長 訓告は口頭で行われ、将来に何ら影響を及ぼさないが戒告は人事記録に残る。

問 民間人は営業成績を伸ばすなどすれば挽回の余地があるが、公務員の懲戒処分は将来の大きな傷になる。

公平、公正を担保するためには職員や町民が納得する「町の規定」を作るべきではないか。

雲南市や登別市は作っている。

町長 庁内会議で検討する。

問 旧津和野町も旧日原町もすでに存在しないのに、その時の過失も現在の懲戒処分の対象になるのか。

町長 行政に時効はない。

下宿をもう一度見直そう

空き家の改修や県の制度の活用等検討している

問 津和野高校は存続のために毎年80人の

新入生が必要。しかし、地元でこれを満たすのは難しい。

そこで津高は全国公募を行ってきた。15の都道府県から60人が入学し勉強に励んでいる。

津高の寮は一部屋4人であり、今の時代にそぐわない。

そこで、「下宿をもう一度見直そう」という提言をする。

部屋については当町には多くの空き家があり、夫婦だけの家がある。

一番のネックは食事なので、食事は個別に提供しないで専用の食事場所を用意する。それら全体をNPO法人が取りまとめる。

寮生は寮費が3万5千円であるのに対し、下宿生は7万円位かかる。

下宿生に何らかの補助はできないか。

町長 寮については施設の経年劣化や生徒のニーズを踏まえ、高校から県に要望

をし、その都度改修を行ってきた。

しかし、県の予算にも限界があり、また、町立の寮を建てるには予算上も運営上も難しい。

下宿については、現在NPO法人ブートピアという組織が町内のビジネスホテルを活用し事業を行っており、県外生を対象に6人が生活している。

そこではただ下宿をさせるのではなく、「教育型下宿」として生徒への学習指導を行いながら、教育と下宿を合わせた事業をして展開している。

しかし運営上の課題も多く、継続することが難しいといった話もある。

町としても空き家を活用するなどの施設の確保策と県の制度を活用した運営補助の可否について様々な検討をしている。



提出者	第6回(9月)定例会 賛否表 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席	草	米	川	道	板	丁	御	三	寺	後	岡	結
		田	澤	田	信	垣		手	浦	戸	山	田	果
町長	津和野町過疎地域自立促進計画(平成28年度～平成32年度)の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町空家等対策協議会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町子育て世代包括支援センター設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町営バス運行に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町非常勤の職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町道森村笹山線の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員	平成30年度津和野町一般会計補正予算(第3号)	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度津和野町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	否決
町長	平成30年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度津和野町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 診療所特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	// 介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
町長	病院事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第5回(8月)臨時会												
町長	平成30年度日原賑わい創出拠点づくり事業カフェ・トイレ棟新築工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成30年度津和野町立日原図書館建設工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

全員協議会

●西日本豪雨災害・SL運休に伴う観光支援対策

(平成30年8月3日・30日)
西日本豪雨によりSL「やまぐち」一号の運行について当面の間、運休が確定した。

このため宿泊のキャンセルや観光施設の入場者数が軒並み減少している。緊急的に町としての支援策を講じたい。

安野光雅美術館等、城跡観光リフト、小学生は無料。子ども同伴の中学生以上は大人を含め団体割引扱い。

家族子ども2人まで宿泊無料。休日にアンケートを回答した観光客、一日限定50人に商品券千円分を配布。

組合加盟施設に宿泊した家族連れ先着300人に、小学生以下を2人まで無料にした上でひとりにつき商品券千円をプレゼント。

期間8月1日～8月31日
概算事業費266万円程度。

企業誘致 進出検討企業

(株)HIYAMA(ヒヤマ)／東京都文京区／代表・樋山博之
東京都文京区で洋菓子店を展開する会社。

進出までの経過

文京区長の成澤氏を通じて津和野町東京事務所・宮内次長と知り合い交流を重ねることで、津和野町での事業展開を構想するようになった。

事業構想

出店地は、津和野高校近くの伝統工芸社跡地を予定。
法人名「(株)STE」を予定。

オープン…平成31年春を予定。
雇用人員…約12人を予定。

食材…町内及び近隣の1次産品、メロン・イチゴ・津和野栗等。CASの積極的活用。

支援内容

津和野町商業支援事業。
島根湯6次産業推進事業。
固定資産税の減免など。

津和野町内線(石見交通バス津和野温泉・野広橋)の拡充

県道柿木津和野停車場線中座バイパス開通後の住民の町内移動を円滑にするとともに、津和野を訪れる観光客が、なごみ温泉と津和野駅を起点として効率的に運行することが可能になる。

交通手段を整備することにより、公共交通の利便性の向上と地域の活性化を図ることを目的とする。

石見交通が運行する路線バス津和野町内線の拡充を支援する。

バス購入補助

・日野自動車「バス」
乗車定員33人
購入金額2200万円
補助金1100万円
補助対象者
石見交通(株)

実施時期

・ダイヤ改正
平成30年11月(予定)
バス購入
平成31年3月31日

この人にインタビュー



「つわの風雅蒼涼」リーダー
吉永 よしか さん

華麗で力強い踊りが印象的なよさこい踊り「つわの風雅蒼涼」のリーダー吉永よしかさんにお話を伺いました。

―活動を始めたきっかけは。

吉永 2006年12月に結成しました。他県のよさこいチームの方が、頑張っているのを見て「私達も津和野が元気になるために、何かできるかも」と気持ちをみんな持っていました。

自分も楽しみながらメンバーも楽しんでもらえ、笑顔の交換ができる活動をしたと思い始めました。

―「風雅蒼涼」の名前の由来は。

吉永 蒼々とした山々に囲まれ清らかな（涼）水の流れるこの津和野に「雅」やかな踊りを舞い新たな「風」を巻き起こしたいと思いを込めました。

―グループ名の最初に「つわの」をつけたのはなぜですか。

吉永 「津和野から来ました」と県外で話すと良く山口県や鳥取県と間違われていたんです。



島根県の津和野町を知ってもらい、そして津和野町に足を運んでもらいたいとの思いから「つわの」と付けて県外公演にも飛び出しました。

―メンバーは何人ですか。

吉永 20人前後です。家族で活動する方が多いです。

みんな仲良しファミリーです。

就職や結婚で遠くに行った準メンバーは、帰省した時や近くに遠征した時に参加してくれます。「鳴子だけでもっといい」と声をかけています。

―活動の頻度は。

吉永 毎週（火・水）に19:30～22:00まで津和野小学校のランチルームで練習しています。誰でも見学OKですよ。

県内県外合わせて年間40回くらい遠征しています。

各地で声をかけて頂けることが少しずつ増えました。

―津和野小学校のクラブ活動に参加されていますか。

吉永 年4回ですが、子どもたちはイキイキと活動しています。

先輩を見て下の子が覚えたり、先輩は教える難しさを経験したり、あつという間にマスターします。

クラブの子どもたちと余芸大会にも一緒に参加しています。

子どもたちの笑顔には力がありますね。

学校ではできない大人とのふれあいが微笑ましいです。

聞き手…寺戸 昌子

編集後記

9月議会開会直前、9月9日、大坂なおみさんが、テニスの全米オープン制覇を果たしました。

日本人選手として初の四大大会優勝に、日本中が沸き立ちました。

津和野町の9月議会も多くの傍聴人にお越しいただき、熱気を感じることができました。

ありがとうございます。

私は、初のインタビューに挑戦しました。ドキドキでしたが、つわの風雅蒼涼の吉永よしかさんは、とても気さくでパワフルな素敵な方でした。

今後のご活躍も楽しみです。

インタビューの時間は楽しくあつという間に過ぎてしまいました。

その雰囲気紙面に活かしたいと奮闘してみました皆様にお届けできたかどうか疑問です。お許しを。

寺戸 昌子

広報広聴常任委員会

◎米澤 右文 ○寺戸 昌子

川田 剛 三浦 英治

草田 吉丸 岡田 克也